

令和5年11月15日

令和6年2月1日更新

関西医科大学 医学部

令和7年度入試（令和7年4月入学）における

学校推薦型選抜試験・特色選抜試験の推薦の対象とその要件について（予告）

令和7（2025）年度の学校推薦型選抜試験・特色選抜試験における推薦の対象とその要件、及び提出書類について、次のとおり予告いたします。

なお、ここに予告する内容は現時点での予定であり、今後追加・修正が生じた際には改めて公表いたしますので、本学ホームページならびに令和6（2024）年度に公表する令和7年度学生募集要項で必ず確認してください。

特別枠学校推薦型選抜試験（専願制）

1. 趣旨・目的

特別枠学校推薦型選抜試験は、卒業後、原則2年間の臨床研修を本学で行い、専門研修以降に本学が指定する医師不足地域（大阪泉南部・京都北部・兵庫県中北部・三重・和歌山・滋賀など※）の医療機関、本学の医師不足診療科（産婦人科・小児科・救急医学科・外科・内科など※）に臨床研修を含め10年以上勤務する医師となる学生を選抜することを目的としています。

なお、6年間の課程において、特別のカリキュラムを設定しております。

2. 推薦の対象とその要件

日本国内の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ）普通科（理数科等を含む）を令和7年3月卒業見込みの者または令和6年3月に卒業した者、あるいは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該過程を令和7年3月31日までに修了見込みの者または令和5年4月1日から令和6年3月31日の間に修了した者で、次の要件を全て満たす者

- ① 本学の建学の精神に則り、本学への入学を希望する者
- ② 卒業後、原則2年間の臨床研修を本学で行い、専門研修以降に本学が指定する医師不足地域（大阪泉南部・京都北部・兵庫県中北部・三重・和歌山・滋賀など※）の医療機関、本学の医師不足診療科（産婦人科・小児科・救急医学科・外科・内科など※）に臨床研修を含め10年以上勤務することを約束できる者（出願時に「誓約書」を提出すること）
 - ※ 卒業時の状況により変わることがあります。
 - ※ 特別枠入学者にはこれを遵守していただく必要があります。特別枠入学者が卒業後にこの勤務条件以外の勤務先を希望する場合、特別枠制度の秩序違反として制裁の対象となる可能性があります。
- ③ **本学を専願し、出願後は必ず受験し、合格した際に本人及び保護者が入学することを確約できる者**
 - ※ いかなる理由があっても出願手続後の辞退は認めません。

- ④ 全体の学習成績の状況及び6教科（国語、地理・歴史、公民、数学、理科、外国語）のみを対象とした学習成績の状況がともに4.0以上であり、人物・学力に優れていると判断し、学校長が推薦する者（令和7年3月卒業見込みの者は、高等学校第3学年1学期までの学習成績の状況とする）
- ⑤ 令和7年3月に高等学校を卒業見込みの者においては、次の科目またはこれらに相当する科目を履修した者

数 学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C

（理数科は、理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ、理数数学特論）

理 科：物理・化学・生物のうち2科目以上

（理数科は、理数物理・理数化学・理数生物のうち2科目以上）

外国語：英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、
論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ

令和6年3月に高等学校を卒業した者においては、次の科目またはこれらに相当する科目を履修した者

数 学：数学Ⅰは必修、数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学Bのうち2科目以上

（理数科は、理数数学Ⅰ及び理数数学Ⅱ）

理 科：物理・化学・生物のうち2科目以上

（理数科は、理数物理・理数化学・理数生物のうち2科目以上）

外国語：コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ

特別枠入学者の奨学金

特別枠入学者の希望者に奨学金を優先貸与する。貸与期間は在学する6年間とし、毎年100万円を限度に貸与する。貸与奨学金の返済は卒業までの間は据え置きとし、その後、本学附属の医療機関での臨床研修期間と本学が指定する医師不足地域・診療科に勤務する期間を合わせ10年間勤務することにより、奨学金全額の返済を免除する。

※ 奨学金受給の有無にかかわらず、特別枠としての上記②の勤務条件は適用されます。

一般枠学校推薦型選抜試験

1. 推薦の対象とその要件

次の全ての要件を満たす者

- ① 本学の建学の精神に則り、本学への入学を希望する者
- ② 日本国内の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ）普通科（理数科等を含む）を令和7年3月卒業見込みの者または令和6年3月に卒業した者、あるいは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該過程を令和7年3月31日までに修了見込みの者または令和5年4月1日から令和6年3月31日の間に修了した者で、学校長が推薦する者
- ③ 全体の学習成績の状況が3.5以上の者（令和7年3月卒業見込みの者は高等学校第3学年1学期までの学習成績の状況とする）
- ④ 令和7年3月に高等学校を卒業見込みの者においては、次の科目またはこれらに相当する科目を履修した者

数 学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C

（理数科は、理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ、理数数学特論）

理 科：物理・化学・生物のうち2科目以上

（理数科は、理数物理・理数化学・理数生物のうち2科目以上）

外国語：英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、
論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ

令和6年3月に卒業した者においては、履修科目の制限はない。

特色選抜試験

英語型

次の全ての要件を満たす者

- ① 日本国内の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ）普通科（理数科等を含む）を令和 7 年 3 月卒業見込みの者または令和 6 年 3 月に卒業した者、あるいは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該過程を令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者または令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日の間に修了した者で、学校長が推薦する者
- ② 次の英語資格・検定試験のうち、いずれか 1 つの基準を満たすスコアを取得している者。なお、スコアは出願受付開始日から遡って 2 年以内に受験したもので、出願時に提出できるのは 1 種類かつ 1 回の資格・スコアに限る。異なる実施回の各技能のスコアを組み合わせることはできない。また、各資格・検定試験の定める有効期間を超えた資格・スコアは出願開始の 2 年以内であっても利用できない。

英語資格・検定試験名	基準スコア
ケンブリッジ英語検定	160 点以上
実用英語技能検定（英検） ^{®※1}	CSE スコア 2,300 点以上
GTEC CBT	1,180 点以上
IELTS ^{※2}	5.5 以上
TEAP 4 技能	309 点以上
TEAP CBT	600 点以上
TOEFL iBT ^{® ※3}	72 点以上
TOEIC [®] L&R/TOEIC [®] S&W ^{※4}	1,560 点以上 ^{※5}

※1 級の合否や不合格に関わらず、CSE スコアを利用する。

※2 オンライン版は不可。

※3 自宅受験型 TOEFL iBT[®] テスト「TOEFL iBT[®] Home Edition」は不可。
My Best[®] スコアは利用できない。

※4 IP テストは不可。

※5 TOEIC[®] S&W のスコアを 2.5 倍にして合算したスコアで判定する。

国際型

次の全ての要件を満たす者

- ① スイス民法典に基づく財団法人の国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格 (IB Diploma) を令和 5 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までに授与された者または授与される見込みの者、かつ令和 7 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者で、学校長が推薦する者
 - ② 次の 1) ~4) のいずれかに該当する者
 - 1) 母語が日本語
 - 2) 日本語 A を履修した者
 - 3) 日本語 B (HL) を履修し、成績評価が 6 以上 (HL)
 - 4) 日本語 B (SL) を履修し、成績評価が 7 (SL)
 - ③ 次の 1) ~3) のいずれかに該当する者
 - 1) 英語 A を履修した者
 - 2) 英語 B (HL) を履修し、成績評価が 5 以上 (HL)
 - 3) 英語 B (SL) を履修し、成績評価が 7 (SL)
- ※ 令和 5 年 11 月 15 日の公表で②と③の要件に「全てに該当する」と記載しておりましたが、「いずれか」の誤りでしたので、訂正のうえ通知します。
- ④ 国際バカロレア試験の総合成績が 36 点以上の者
 - ⑤ 国際バカロレア資格取得において、本学が指定する科目を履修し、かつ指定する成績を収めていること
数学 (HL) 成績 6 以上、生物 (HL)、化学 (HL)、物理 (HL) から 2 科目 (成績 6 以上)
- ※ 国際バカロレア資格 (IB Diploma) を取得見込みで出願した者が合格となった場合は令和 7 年 3 月 1 日までに「国際バカロレア事務局から授与された国際バカロレア資格証書の写し」及び「上記出願要件②~⑤を満たしていることを証明する書類」を提出してください。期日までに提出がない場合は入学許可を取り消します。

科学型

次の全ての要件を満たす者

- ① 日本国内の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ）普通科（理数科等を含む）を令和 7 年 3 月卒業見込みの者または令和 6 年 3 月に卒業した者、あるいは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該過程を令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者または令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日の間に修了した者で、学校長が推薦する者
- ② 令和 4 年 4 月から令和 6 年 10 月の間に次のいずれかの大会に選出された者。なお、下記大会への参加が選出要件に含まれる場合（大会欠席者は選出が取り消される場合）は、参加を必須とする。
 - 1) 日本生物学オリンピック 本選大会
 - 2) 高校生科学技術チャレンジ 最終審査会
 - 3) 全国物理コンテスト「物理チャレンジ」 第 2 チャレンジ
 - 4) 全国高等学校化学グランプリ 二次選考
 - 5) 日本数学オリンピック 本選
 - 6) 日本情報オリンピック 本選

学校推薦型選抜試験・特色選抜試験の出願書類

試験種別毎に提出が必要な書類の内容は下表のとおりです。

なお、本学所定の書類のデータは後日公表します。

Web 入学志願票	インターネット出願後に出力できる本学所定の志願票
推薦書	本学所定の様式を使用して高等学校長が令和 6 年 8 月 1 日以降に発行した書類
調査書	文部科学省指定の様式により、出身高等学校が令和 6 年 8 月 1 日以降に発行した書類
誓約書	特別枠を出願する際に、特別枠の趣旨・目的を理解し、定められた勤務要件を履行することを保護者連名で誓約する本学所定の書類
志望理由書	本学所定の様式を使用して、受験者本人が記載する書類
活動報告書	本学所定の様式を使用して、受験者本人が記載する書類
各種証明書	<p>特色選抜試験の受験型を証明する証明書。各型に必要な書類は次のとおり。</p> <p>英語型： 合格証明書・成績表・スコアレポートなどの写し</p> <p>国際型： 国際バカロレア事務局から授与された国際バカロレア資格証書の写し 資格取得見込みの者は国際バカロレア資格取得見込み証明書及び見込み点（Predicated Grades）が記載された書類（共に任意様式）。なお、資格取得見込みで合格した者は、令和 7 年 3 月 1 日までに「国際バカロレア事務局から授与された国際バカロレア資格証書の写し」及び「出願要件を満たしていることを証明する書類」を提出してください。期日までに提出がない場合は入学許可を取り消します。</p> <p>科学型： 次の①～③の項目が記載された各種大会に選抜されたと証明できる主催団体が発行した書類または大会参加証の写し（任意書式）</p> <p>①参加大会の名称 ②参加大会の実施年度または実施回数あるいは実施日程 ③志願者の氏名</p>

書類／出願区分	学校推薦型選抜試験		特色選抜試験		
	特別枠	一般枠	英語型	国際型	科学型
Web 入学志願票	○	○	○	○	○
推薦書	○	○	○	○	○
調査書	○	○	○	—	○
誓約書	○	—	—	—	—
志望理由書	○	○	○	○	○
活動報告書	—	—	○	○	○
各種証明書	—	—	○	○	○